

特集

妊娠期から切れ目のない子育て支援

みんなと一緒に

楽しく子育て



核家族化や共働き世帯の増加などを背景に、子どもや子育てを取り巻く環境が大きく変化している中、子育てについての相談相手が見つからず、孤立したり、不安を抱いたりする世帯が全国的に増えているといわれています。今回の特集では、気軽に相談できる本市の相談窓口や、妊娠期から子育て期まで切れ目なく実施している支援事業などを紹介します。

環境の変化と子育ての孤立化
全国的に少子高齢化が進む中、核家族化や地域のつながりの希薄化など、子どもや子育てを取り巻く環境が大きく変化しています。このような中、子育て中の親(特に母親)は、かつてのように祖父母や地域の人たちの協力を得て子育てすることが難しくなってきたことで、子育ての孤立化や子育てに不安を感じる人の増加が社会の大きな問題になってきています。

こうしたことを背景に、国は平成27年度に「子ども・子育て支援新制度」を開始しました。本市においてもこの制度を基本とし、「子どもを安心して産み、楽しく育て、子どもが健やかに成長できる環境づくりの推進」を目標とするとして、子育てしやすいまちづくりに取り組んでいます。

市民意識アンケート調査結果

昨年8月、本市は子育て支援の満足度などを把握するため、市内在住の20〜40代の保護者を対象に、市民意識アンケート調査を実施しました。

「佐世保市は子育てしやすいまちと思うか」の設問については、

「子育てしやすい、または、どちらかといえばしやすい」と回答した人が全体の60%で、「保育所や幼稚園が充実している」「自然環境に恵まれている」などが主な理由でした。一方、子育てしにくい理由としては、「手当や経済的支援が不足している」「子育てについて親の協力が得られない」などが寄せられました。

祖父母との同居・近居別の設問では、母方の祖父母と同居している世帯は、「子育てしやすい」と感じる割合が高いという傾向にありました。また、出産・育児の情報を知ったときに頼りにしているものは、「祖父母」がインターネットに次いで2番目に多くありました。

一方、回答者の世帯構成を見ると、親子だけで暮らす「母親と父親だけの世帯」が全体の69%を占め、頼りになる祖父母などがそばにいない核家族が多いことが分かりました。

本市では、こうした状況を踏まえ、妊娠・出産・子育てなど、それぞれの時期に応じて切れ目なく支援できるように、さまざまな事業を実施しています。次ページ以降では、その一部を紹介いたします。

パパになる心の準備

プレパパ学級

これから初めての妊娠や出産を迎えるお母さんはいろいろな不安を抱えています。「プレパパ学級」はそうしたお母さんのことをお父さんがよく理解し、子育てに参加するためのパパ体験会です。妊婦体験や沐浴体験などを通して、妊娠期や出産期にできるさまざまなことを学びます。

日時 8月27日@10時〜12時

※毎月1回開催。

場所 中央保健福祉センター

対象 本市在住で、妻が第1子を妊娠している人

申込 電話で子ども保健課へ

☎子ども保健課 ☎24・1111

ママへの第一歩

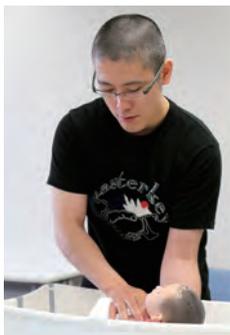
母子健康手帳交付

妊娠したら、「母子健康手帳」をもらいましょう。本市では、母子健康手帳をお渡しする際に、保健師が手帳の使い方や分かりやすく説明したり、管理栄養士・歯科衛生士が、栄養や歯の健康について説明したりします。また、「マタニティマーク」の配布も併せて行っています。日時や交付場所など、詳しくは子ども保健課にお尋ねください。

☎子ども保健課 ☎24・1111



プレパパ学級
6月25日開催



「食べる」のはじめの一步 離乳食講座と実習

離乳食の作り方や与え方を学ぶ「離乳食講座と実習」。長崎国際大学の先生を講師に迎え、離乳食について講話をしていただき、その後実習を行います。「離乳食って、いつから始めればいいのか」「簡単にできるメニューが知りたい」など、皆さんの疑問にもお答えしながら進めています。開催日程など、詳しくはお尋ねください。

◎幼児教育センター ☎31・0550

子育てのネットワーク作り パパママ学級

初めての子育てでは、毎日がハラハラドキドキの連続。「こんなとき、同じ月齢の子どもはどうなんだろう」と、同じ境遇のパパやママと話をしてみたいと思ったことはありませんか。「パパママ学級」では、そうした皆さんを対象としたグループで、毎回、読み聞かせや座談会などを行っています。子育てのネットワーク作りにもどうぞ。

日時 9月10日◎10時～12時
場所 子ども発達センター
対象 生後2～6カ月の第1子の赤ちゃんとその両親

申込 電話で同センターへ(要予約)

◎子ども発達センター ☎23・3945

転動族の強い味方 ひまわり

「転動などで初めて本市に来て知り合いもない」「お父さんが単身赴任や長期出張で、家庭ではいつも子どもと二人きり」そんな環境のお母さんは、乳幼児親子支援グループ「ひまわり」に参加して、お母さん同士で情報交換したり、ママ友を作ったりしてみませんか。毎回たくさんの親子が参加しており、保育士による育児相談や親子遊びも行っています。気軽に遊びに来てください。

日時 8月15日◎、9月5日◎9時30分
～11時(毎月第1・3火曜)

場所 子ども発達センター
料金 無料(申し込み不要)

◎子ども発達センター ☎23・3945



ひまわり 6月20日開催



パパママ学級 5月28日開催



離乳食講座 5月30日開催



妊娠期／子育て期

妊婦中から産後・子育ての悩み相談 ままんちさせば

本年4月、新たに設置した妊産婦さん専用の相談窓口です。不安や悩みの多い妊娠から産前産後、子育て期まで、ママやパパが安心して生活できるように、助産師の資格を持つ「母子保健コーディネーター」や「ママサポーター」などの専門スタッフが、電話相談や家庭訪問などを行います。お気軽にご相談ください。

時間 8時30分～17時15分(土・日曜、祝日、年末年始を除く)
場所 中央保健福祉センター4階
子ども保健課内

◎ままんちさせば ☎25・9778

一人で悩まず
一緒に子育てを楽しみましょう
ままんちさせば
母子保健コーディネーター
毛利 陽子さん



「ままんちさせば」では、妊娠中の母乳ケアや産後すぐの子育ての仕方など、日頃お母さんたちが感じている不安や悩みの相談を受け付けています。「おっぱいのあげ方が分からない」「げっぷが出ない」「子どもがずっと泣いてる」など、どこに相談していいのかわからない、そんなちょっとした悩みにもママサポーターや保健師と連携してアドバイスしたり、必要に応じて産後ケアの実施機関などを紹介したりしています。

「ままんちさせば」では、名前のとおり「ママの家ままんち」のように、お母さんたちが自分たちの家にもいるような感覚で気軽に相談をしてもらえればと思っています。一人で悩まず、一緒に子育てを楽しみましょう。

産後ケア

本市では、退院後も授乳や沐浴などのサポートが助産師等から受けられる「産後ケア」が4月から始まりました。どうぞご利用ください。

対象 本市に住民票がある人で、出産後2カ月以内の人
種類 訪問ケア(1000円)、デイケア3時間コース(1200円)、デイケア7時間コース

(2400円)、ショートステイ(料金は各実施機関にお尋ねを)

※実施機関や申し込み方法など、詳しくは広報させば6月号をご覧ください。なるか、お尋ねください。

◎子ども保健課 ☎24・1111

あなたの子育て支援アイデアを奨励金で実現

困ったときこそたくさんある支援団体に相談を

「ようこそ！パパ・ママ&赤ちゃんフェス」のアイデアを実現

NPO法人ちいきのなま 山崎 翠さん



しを島瀬美術センターなどで開催しました。

期間中は約2千人の方に足を運んでいただき、各団体の皆さんからもいろいろなお話を聞くことができて、とても心強く感じました。お母さんたちの声を聞くための「あるあるの木」の葉っぱには、多くの方に日頃の思いを書いていただき、さまざまな声を知ることができて、大変有意義なものになりました。

子育てを頑張っているお母さんたちには、困ったときや助けてほしいときこそ、ぜひ相談をしてほしいです。赤ちゃんフェスで紹介したように、市内には支援団体がたくさんありますので、ぜひそういう場所を活用していただきたいと思っています。

自分の家庭だけでなく、地域の人たちと触れ合うことで、親と子が共に成長していくような社会を目指し、私たちも引き続き、お母さんやお父さんたちの声に耳を傾けながらサポートしていきたいと思っています。(取材日 6月29日)

子育てママパパ
100人
ワールド
カフェ

子育て中のママやパパなど皆さんで佐世保での子育てについて考えるイベントを初開催します。カフェのようにリラックスした雰囲気の中で、みんなでアイデアを出し合います。佐世保が今よりもっと子育てしやすいまちになるように、みんなができることを考え、子育て支援の輪を広めましょう。

日時 8月27日(日)10時~12時
場所 中央保健福祉センター
対象 子育て中の人
料金 無料(話費あり、要予約)
定員 先着100人
申込 電話またはEメール
kodosei@ty.sasebo.lg.jp(子ども政策課へ)

- 本市は昨年度、市民の皆さんを対象に「夢のある子育て支援アイデア」を募集し、採用されたら最大10万円の奨励金で、そのアイデアを考えた人に実現していただくという取り組みを開始しました。審査の結果、実現されたのは次の9つのアイデアです。
- まま&キッズサロン
- 親子いこいの広場もくもく
- 家庭文庫はれてもあめで
- ようこそ！パパ・ママ&赤ちゃんフェス
- 父親を育児参加へ誘う父親学級
- 親子の居場所作りなどにつながる子ども食堂の輪を広げる講演会
- ママと子どものおしゃべりアトリエ「chamberie」
- ぽかぽか心があつたまるママのためのキレイデザイン学
- 佐世保てらこや

ご応募いただいた皆さんや取り組みにご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。

本年度(募集終了)は、21件の応募の中から15件が採用となり、来年3月までに事業を実施していただく予定です。詳しくは市HPなどをご覧ください。

子育て支援のお役立ち情報！

保育・教育施設をご案内

保育コンシェルジュ



「保育コンシェルジュ」は子どもを預けたいときに市内100カ所以上の保育・教育施設の中から、各家庭の状況に応じたサービスを案内するガイド役です。この他にも子育て支援センターや各手続きの窓口などの紹介も行っていますので、お気軽にご相談ください。

時間 月～金曜9時～17時(祝日、年末年始を除く)

場所 子ども政策課(中央保健福祉センター)

申込 事前に電話で子ども政策課へ

☎子ども政策課 ☎24-1111

市内の遊び場を紹介

「おでかけ SASEBO」



「おでかけ SASEBO」は、佐世保市周辺の屋内や屋外の遊び場を紹介する情報紙です。子育て中の親子が集う子育て支援センターや乳幼児が遊べる公園などの情報を掲載しています。親子でたくさん遊んで、みんなで子育てを楽しみましょう。市役所子ども未来部の各課窓口、幼児教育センター、各子育て支援センターなどで配布しています。

☎幼児教育センター ☎31-0550

サークルグループ

育児サークル・子育て支援グループ

現在市内では約30の育児サークルや子育て支援グループが活動しています。活動内容や連絡先などをまとめた冊子を下記の窓口で配布していますので、どうぞご覧ください。

配布場所 中央保健福祉センター4階、各支所、宇久行政センター、各地区公民館、各子育て支援センター、子ども発達センターなど

☎幼児教育センター ☎31-0550

相互サポート

ファミリーサポートセンター佐世保

育児のサポートを受けたい依頼会員と、サポートしたい提供会員をコーディネートします。会員登録や利用方法など、詳しくはお尋ねください。

☎ファミリーサポートセンター ☎42-1848

子育て情報ポータルサイト

子育て応援マップ

子どもがいる世帯やこれから子どもが生まれる世帯向けに、本市の子育て支援の情報をお知らせするサイトです。子どもの成長段階ごとにさまざまな情報を総合的に掲載していますので、市の子育て情報のポータルサイトとしてご利用ください。地図と連動していますので、自宅近くの施設や相談窓口の検索も簡単にできます。(ホームページアドレス)

http://www.city.sasebo.lg.jp/kodomomirai/kodoshie/oenmap.html

※右の画像を読み込んでご覧ください。



※ Facebook 佐世保市子ども未来部 <https://www.facebook.com/s.kodomo/>

特集記事に関するお尋ねなど 子ども政策課 ☎24-1111